

**田辺三菱製薬株式会社**



田辺三菱製薬

**2019年度 決算概要**  
**(2019年4月1日～2020年3月31日)**

**2020年5月13日**

## 2019年度決算概要

	2019年度	2018年度	前期比較		予想比較	
			増減額	増減率	当初予想※	達成率
	億円	億円	億円	%	億円	%
売上収益	3,798	4,247	△ 449	△ 10.6	3,760	101.0
（国内売上収益）	3,139	3,077	+ 62	+ 2.0	3,083	101.8
（海外売上収益）	658	1,170	△ 512	△ 43.7	676	97.3
海外売上比率	17.3%	27.6%			18.0%	
売上原価	1,810	1,806	+ 3	+ 0.2	1,785	101.4
売上原価率	47.7%	42.5%			47.5%	
売上総利益	1,988	2,441	△ 453	△ 18.6	1,975	100.7
販管費	975	982	△ 6	△ 0.7	990	98.6
研究開発費	794	865	△ 70	△ 8.2	855	92.9
製品に係る無形資産償却費	24	29	△ 4	△ 15.1	25	99.6
その他損益*	△ 2	△ 5	+ 3	-	△ 5	-
コア営業利益	190	558	△ 367	△ 65.9	100	190.6
非経常項目*	△ 251	△ 55	△ 196	-	15	-
営業利益*	△ 60	503	△ 563	△ 112.1	115	△ 52.8
金融損益*	△ 4	1	△ 5	-		
当期利益（親会社帰属）	1	373	△ 372	△ 99.6	50	2.9
期中平均レート（米ドル）	108.95円	111.07円			110.00円	

\*費用・損失の場合に△と表示

※2019年5月10日公表

	2019年度	2018年度	前期比較		予想比較	
			増減額	増減率	当初予想※	達成率
	億円	億円	億円	%	億円	%
売上収益	3,798	4,247	△ 449	△ 10.6	3,760	101.0
国内医療用医薬品	3,043	2,987	+ 55	+ 1.9	2,981	102.1
海外医療用医薬品	497	551	△ 53	△ 9.8	496	100.1
(内、ラジカヴァ)	231	270	△ 39	△ 14.5	220	105.0
ロイヤリティ収入等	174	631	△ 456	△ 72.4	192	90.5
一般用医薬品	38	37	+ 1	+ 2.9	43	89.8
その他	44	39	+ 4	+ 11.1	46	95.6

※2019年5月10日公表

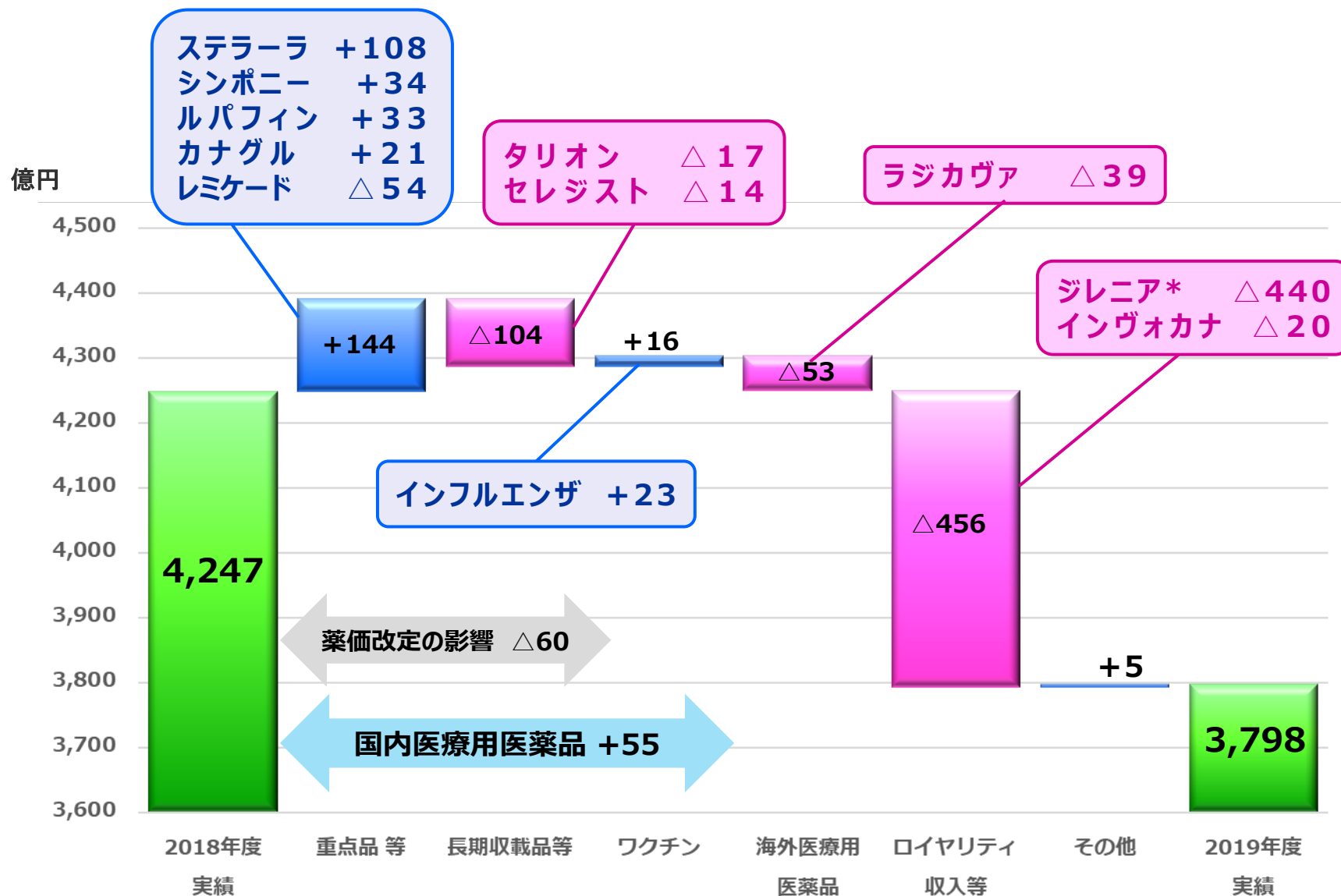
国内医療用医薬品 重点品売上収益



	2019年度	2018年度	前期比較		予想比較	
			増減額	増減率	当初予想※	達成率
	億円	億円	億円	%	億円	%
レミケード	533	588	△ 54	△ 9.3	515	103.5
シンポニー	409	374	+ 34	+ 9.2	422	97.0
ステラーラ	260	152	+ 108	+ 71.0	216	120.1
テネリア	152	152	+ 0	+ 0.1	150	101.0
カナグル	88	67	+ 21	+ 31.1	104	84.9
カナリア	67	74	△ 6	△ 9.2	72	93.4
レクサプロ	149	140	+ 9	+ 6.7	147	101.1
ルパフィン	67	34	+ 33	+ 96.9	75	90.1
イムセラ	42	43	△ 0	△ 2.3	42	99.4
重点品合計	1,771	1,626	+ 144	+ 8.9	1,747	101.4
インフルエンザワクチン	126	102	+ 23	+ 23.1	107	117.2
テトラビック	94	85	+ 9	+ 10.8	100	94.4
ミールビック	59	68	△ 9	△ 13.6	48	123.2
ジェービックV	51	55	△ 3	△ 6.4	45	112.4
水痘ワクチン	49	51	△ 1	△ 3.5	51	94.9
ワクチン合計	389	373	+ 16	+ 4.5	362	107.6
重点品・ワクチン合計	2,160	2,000	+ 160	+ 8.0	2,109	102.4

※2019年5月10日公表

# 売上収益の増減



\* 仲裁手続き中により、一部売上収益の認識を行わないことによる減収を含む

## 2020年度業績予想

	2020年度	2019年度	増減	
	予想※	実績		
	億円	億円	億円	%
売上収益	3,835	3,798	+ 36	+ 1.0
（国内売上収益）	3,141	3,139	+ 1	+ 0.0
（海外売上収益）	694	658	+ 35	+ 5.4
海外売上比率	18.1%	17.3%		
売上原価	1,875	1,810	+ 64	+ 3.6
売上原価率	48.9%	47.7%		
売上総利益	1,960	1,988	△ 28	△ 1.4
販管費	995	975	+ 19	+ 2.0
研究開発費	835	794	+ 40	+ 5.1
製品に係る無形資産償却費	30	24	+ 5	+ 20.4
その他損益*	-	△ 2	+ 2	-
コア営業利益	100	190	△ 90	△ 47.5
非経常項目*	70	△ 251	+ 321	-
営業利益*	170	△ 60	+ 230	-
金融損益*	5	△ 4	+ 9	-
当期利益（親会社帰属）	85	1	+ 83	-
期中平均レート（米ドル）	108.00円	108.95円		

\*費用・損失の場合に△と表示

※新型コロナウイルス感染症の影響を含まない

	2020年度 予想	2019年度 実績	増減	
	億円	億円	億円	%
国内医療用医薬品	3,035	3,043	△ 8	△ 0.3
重点品	1,823	1,771	+ 52	+ 2.9
ワクチン	409	389	+ 19	+ 5.1
長期収載品等	802	882	△ 80	△ 9.1
海外医療用医薬品	509	497	+ 11	+ 2.4
ラジカヴァ	223	231	△ 7	△ 3.3
ロイヤリティ収入等	198	174	+ 24	+ 14.1

## 国内医療用医薬品 重点品売上収益予想

	2020年度	2019年度	増減	
	予想	実績		
	億円	億円	億円	%
レミケード	447	533	△ 85	△ 16.1
シンポニー	422	409	+ 13	+ 3.2
ステラーラ	328	260	+ 68	+ 26.2
テネリア	149	152	△ 2	△ 1.9
カナグル	91	88	+ 3	+ 3.4
カナリア	93	67	+ 25	+ 38.4
レクサプロ	146	149	△ 3	△ 2.1
ルパフィン	102	67	+ 34	+ 51.3
イムセラ	41	42	△ 0	△ 2.3
重点品合計	1,823	1,771	+ 52	+ 2.9
インフルエンザワクチン	122	126	△ 3	△ 3.1
テトラビック	112	94	+ 17	+ 18.7
ミールビック	64	59	+ 4	+ 8.3
ジェービックV	53	51	+ 1	+ 3.4
水痘ワクチン	48	49	△ 0	△ 1.7
ワクチン合計	409	389	+ 19	+ 5.1
重点品・ワクチン合計	2,232	2,160	+ 72	+ 3.3



# VLPワクチン（MT-2271）の米国における開発計画の変更

Open Up the Future



## および減損損失（非経常項目）発生について

- 4月28日に当社ニュースリリースにて公表しましたとおり、連結子会社であるメディカゴ社が開発中の季節性インフルエンザの予防をめざした植物由来VLPワクチン（MT-2271）について、第3相臨床試験の結果を踏まえて、米国での開発計画を変更することを決定しました。
- 成人臨床試験では主要評価項目の成功基準を満たさなかったものの、プラセボより優位なインフルエンザ発症抑制効果を確認し、高齢者臨床試験では対照薬（鶏卵ワクチン）との非劣性を示し、主要評価項目の成功基準を満たし、メディカゴ社が米国FDAと協議を行ってまいりましたが更に追加の臨床試験の実施を求められたため、米国でのMT-2271の承認申請を行わないことを決定しました。
- 当社は、米国での開発計画の変更にともない、MT-2271に係る無形資産（仕掛研究開発費）の約240億円を減損損失（非経常項目）として、2020年3月期決算において計上しました。
- 臨床試験ではプラセボや対照薬（鶏卵ワクチン）との比較において一定の有効性が確認できており、植物由来VLPプラットフォーム技術のメリットを勘案し、現行の製剤よりもさらに有効性を向上させる改良を行うべく、アジュバント※を加えた季節性インフルエンザワクチンの開発について、新たに検討を開始しました。

※ アジュバント：医薬品の効果を高めたり補助したりする目的で併用される物質で、ワクチンとともに投与することで免疫原性を高めることが期待されます。

# 主な開発パイプライン 2019年度の進捗と2020年度予定

Open Up the Future



## グローバル開発品

治験コード	適応症	開発段階	2019年度の進捗 / 2020年度の予定
MT-1186	筋萎縮性側索硬化症：ALS	P3	<ul style="list-style-type: none"> <li>2019年11月にグローバルP3試験（長期安全性試験）を開始</li> </ul>
ND0612	パーキンソン病	P3	<ul style="list-style-type: none"> <li>2019年8月にグローバルP3試験（BouNDless試験）を開始</li> <li>2019年10月に長期安全性試験（BeyoND試験）の1年投与評価を終了</li> </ul>
MT-7117	赤芽球性プロトポルフィリン症	P2	<ul style="list-style-type: none"> <li>2019年度にPOCを取得。2020年度にP3試験を開始予定</li> </ul>
MT-2990	子宮内膜症	P2	<ul style="list-style-type: none"> <li>2020年度にP2試験を完了予定</li> </ul>
MT-8554	更年期に伴う血管運動神経症状	P2	<ul style="list-style-type: none"> <li>P3試験準備中。アライアンス活動を継続</li> </ul>
MT-3921	脊髄損傷	P1	<ul style="list-style-type: none"> <li>2019年度にP1試験結果を取得。2020年4月にP1b試験（患者対象試験）を開始</li> </ul>

## 国内 後期開発品

MT-6548	腎性貧血	申請	<ul style="list-style-type: none"> <li>2019年7月に国内申請を実施。2020年度上市予定</li> </ul>
MT-0551	視神経脊髄炎関連疾患：NMOSD	P3	<ul style="list-style-type: none"> <li>2019年10月にビエラ・バイオ（米）から導入。2020年度に国内申請を予定</li> </ul>

## 計画変更

MT-2271	季節性インフルエンザの予防	P3	<ul style="list-style-type: none"> <li>2020年4月に米国での開発中止※を決定</li> <li>※今後は、アジュバント製剤でのVLPワクチン開発を検討</li> </ul>
---------	---------------	----	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------

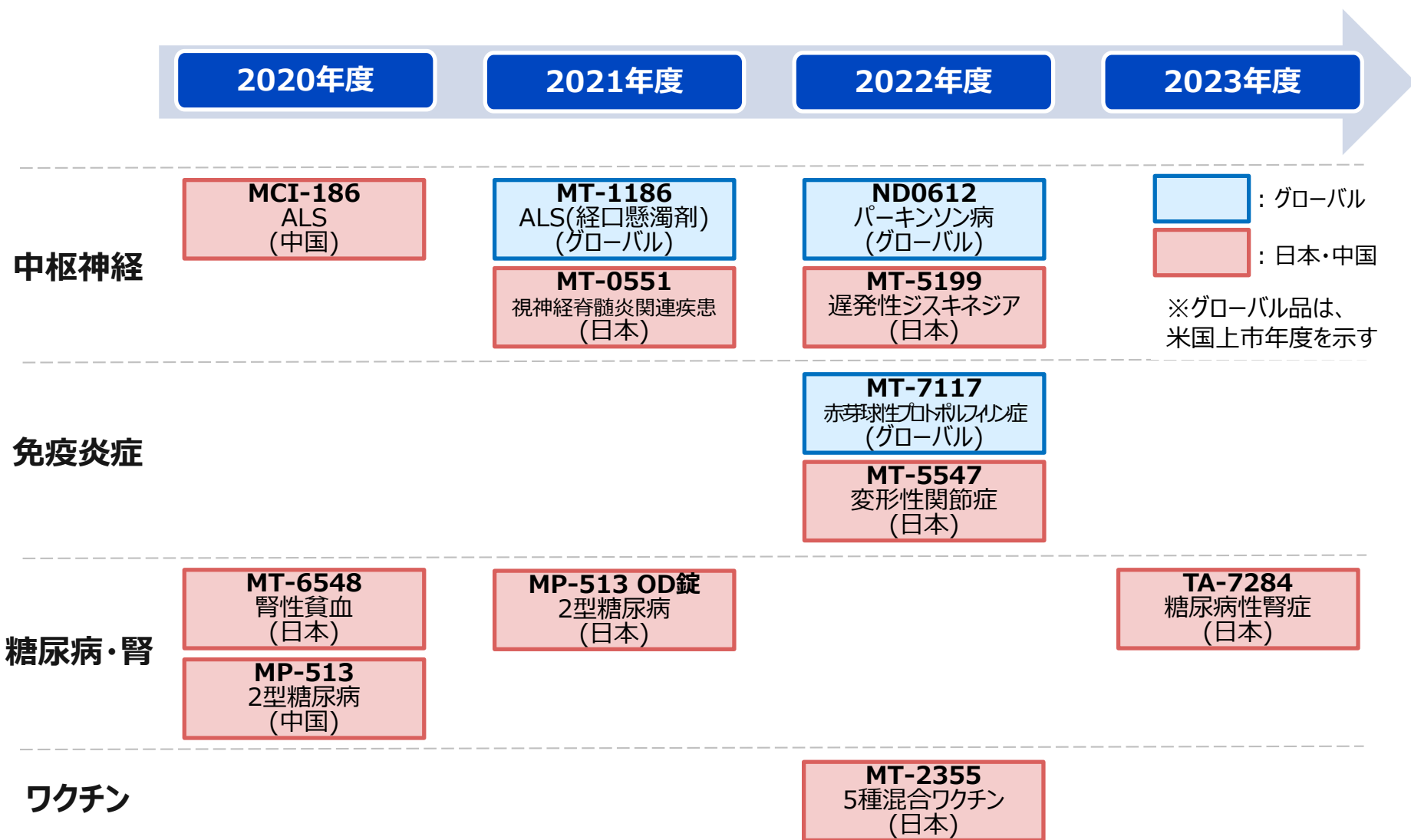
# 主な開発パイプライン一覧

2020年4月30日現在

重点領域	品目	開発地域	想定適応症	P1	P2	P3	申請	承認
中枢神経	MT-1186	グローバル	ALS/経口懸濁剤					
	ND0612	グローバル	パーキンソン病					
	MT-8554	グローバル	更年期に伴う血管運動神経症状			準備中		
	MT-3921	グローバル	脊髄損傷					
	MT-0551	日本	視神経脊髄炎関連疾患				準備中	
	MT-5199	日本	遅発性ジスキネジア					
免疫炎症	MT-7117	グローバル	赤芽球性プロトポルフィリン症			準備中		
	MT-2990	グローバル	子宮内膜症					
	MT-5547	日本	変形性関節症					
糖尿病・腎	MT-3995	グローバル	非アルコール性脂肪性肝炎(NASH)					
	MT-6548	日本	腎性貧血					
	TA-7284	日本	糖尿病性腎症					
	MP-513	中国	2型糖尿病					
ワクチン	MT-2355	日本	5種混合ワクチン*					

\* 小児における百日せき、ジフテリア、破傷風、急性灰白髄炎およびHib感染の予防

# 主な開発パイプラインの上市計画



## 注意事項

本資料に記載した一切の記述内容は、現時点での入手可能な情報に基づき、一部主観的前提をおいて合理的に判断したものであり、将来の結果はさまざまな要素により大きく異なる可能性がありますので、ご了承ください。

医薬品（開発品を含む）に関する情報が含まれていますが、それらは宣伝・広告や医学的なアドバイスを目的とするものではありません。